

令和4年11月11日
久喜市役所

解禁日時	
新聞	令和4年11月19日(土)朝刊
テレビ・ラジオ・インターネット	令和4年11月18日(金)17時

国の登録有形文化財(建造物)の新規登録(2件)について

(同時発表：文部科学記者会及び埼玉県県政記者クラブ)

国の文化審議会(会長：佐藤 信(まこと))は、令和4年11月18日(金曜日)開催の同審議会文化財分科会における審議・議決を経て、本市下清久(しもきよく)に所在する「本多流洗心洞(高木道場)弓道場(ほんだりゅうせんしんどう(たかぎどうじょう)きゅうどうじょう)」と「本多流洗心洞(高木道場)的場(ほんだりゅうせんしんどう(たかぎどうじょう)まどば)」の2件を、新たに登録有形文化財に登録するよう、文部科学大臣に答申する予定です。

この結果、後日行われる官報告示を経て、市内で初めて国の登録有形文化財(建造物)が誕生する見込みです。

(1) 本多流洗心洞(高木道場)弓道場

- 員数：1棟
- 所在地：埼玉県久喜市下清久字鶴ノ谷395-11
- 概要：本多流洗心洞(高木道場)は、現役の弓道場である。旧清久村に生まれ、東京大学弓術部師範を務め、後に同村村長を務めた医師、高木棗(たかぎたすく)によって昭和8年に自宅敷地内に開設された。
敷地内には「弓道場」と「的場」が、15間(27.27m)の距離を持つ矢道を挟んで建つ。

弓道場は木造平屋切妻造、屋根は金属板葺で、建築面積49㎡。昭和7年頃建設、平成23年改修。天井の高い板敷の射場(しゃじょう)を中心に、西側に床の間の付いた畳敷の上座(かみざ)、東に弓置き場、北側に

畳敷の控え、東北に切妻造の玄関を設ける。

意匠的特徴として、窓には矢羽根（やばね）をモチーフとした棧があり、床の間の天井の棹縁は弓状に曲がっている。

的場と合わせ、近代和風建築の弓道場の典型として、造形の規範となっていることや、弓道場として現在も使用していることなどが評価された。

（２）本多流洗心洞（高木道場）的場

○員数：1棟

○所在地：埼玉県久喜市下清久字鶴ノ谷 395-13

○概要：木造平屋切妻造、屋根は金属板葺で、建築面積 14 m²。昭和 7 年頃建設、平成 23 年改修。弓道場側を開放、残る三方を板壁とする。内部に、的をかけるために土や砂を盛り固めた安土（あづち）を設ける。

弓道場と合わせ、近代和風建築の弓道場の典型として、造形の規範となっていることや、弓道場として現在も使用していることなどが評価された。

【参考】

＜登録有形文化財（建造物）とは＞

文化財保護法に基づき、保存及び活用のための措置が特に必要とされるものが登録される。建築後 50 年を経過している建造物で、次のいずれかの基準に当てはまるものが対象となる。

- 一 国土の歴史的景観に寄与しているもの、
- 二 造形の規範となっているもの、
- 三 再現することが容易でないもの。



【提供用写真】



弓道場の正面（南南西より）



弓道場の射場（西より）



弓道場の射場（南西より）



弓道場の上座



的場の外観（北北東より）



的場の側面（南東より）



安土及び小屋組み（北西より）



弓道場利用風景

※写真使用の際のクレジットは不要です。

※本多流洗心洞（高木道場）は一般開放している施設ではなく、また所有者が常住している施設でもないことから、本件のお問い合わせについては、文化財保護課の堀内までお願いします。

【本件の問い合わせ先】

文化財保護課 堀内 謙一

連絡先 TEL 0480-58-1111 内線 230 FAX 0480-31-9550 (代)

メール bunka@city.kuki.lg.jp

※写真データを希望される場合は、文化財保護課の松村までお願いします。

【写真データの希望連絡先】

文化財保護課 文化財・歴史資料係 松村 憲治

連絡先 TEL 0480-58-1111 内線 232 FAX 0480-31-9550 (代)

メール bunka@city.kuki.lg.jp